【ご挨拶】
青葉を吹き渡る快い風が吹く頃となりましたが、心臓血管外科医局から今日もカンファレンスでの活発な声が響いてきます。
本年は心臓血管外科医局をオーケストラ団員に見立てて医局員紹介をしていきます。日々の研鑽を積み重ね、今年も色彩豊かな素晴らしき演奏をお届け致します。（意訳：患者さんにとって最良の医療を届けるため、これまで以上に邁進して参ります。）
※筆者は後述しますが、体育会系から程遠い？吹奏楽部・管弦楽団に所属しておりました。完全に独断と偏見で「それっぽい」担当パートを決めております。

岡田　健次　教授
心臓血管外科楽団のコンダクター(指揮者)として就任 9 年目です。全医局員に注意を配り、ひとたびタクトが振られると医局員はその指示通りにキッチリ奏でねばなりません。最近はファゴットに向けられる視線がアツい・・・。
昨年は日独血管外科の主催、本年度は冠動脈外科学会の主催をされております。退官年にはラストを飾る心臓血管外科学術総会の主催も待っています。臨床・研究・教育の 3 本柱をこなし副院長業務まで・・・。ヒラ団員からは見えない仕事の多忙さで国内外を飛び回り追いかけるのが大変です。

高橋　宏明　准教授/外来医長
担当パートはコントラバスです。でっかいやつです。医局員で最も BIG。心も身体も年々ＢＩＧになっております。縁の下の力持ち、リズム隊の核を成すオーケストラの中での要です。ドイツ留学から帰国後、北播磨総合医療センター、淡路医療センターの部長を経て、4 年前から神戸大学へ赴任されました。低侵襲の MICS 手術をより標準化し若手も修錬できるように指導されており、Robotic surgery も今年度から始動します。多くの大学院生の研究指導教官を務めておられ、ポンコツ大学院生の計画に振り回されています、がどこか楽しそう。

山中　勝弘　講師/医局長
医局長先生の担当はコンサートマスターの 1st ヴァイオリンです。指揮者の意向をいち早く伝達しコンサートマスターに追従して団員は演奏します。坊主のコワモテ系ヴァイオリニストでいうと石田泰尚みたいな印象ですかね。
アメリカ留学から脊髄保護の研究を続けておられ、広範囲の大動脈手術から低侵襲ステントグラフトまでお任せあれ。患者さんや手術に対する真摯な姿勢に我々医局員は全力でついていきます。医局内と関連病院を繋ぐさまざまな仕事と問題解決をこなされ、まさにコンマスそのもの。

邉見　宗一郎　助教/病棟医長

邉見班長は特攻隊長でありファンファーレで号令をかける花形のトランペット。トランペットイケメン男子は 100%モテておりました。フルマラソンを 3 時間で疾走するイケおじ。イタリア、アメリカで臨床・基礎研究の留学を経て 2 年前より大学に戻って来られました。結構偉いのにかつてタコ部屋と呼ばれた医員室で後輩らと共に過ごし、日々の悩み事も受け止めてくれる兄貴分。学生の教育医長もしておられ、後輩への指導も熱すぎてたまに火傷しちゃう。

白木　宏長　特定助教
担当はフルートです。難しく速いパッセージを華麗にこなし、さも当然の如く花形ソロのポジションを掻っ攫って行きます。「オンリーワンよりナンバーワン」とパート目標を掲げ、人気楽器で競争率も高くいわゆる美麗な勝ち組人種しかなれません。古参ミセスファン。MICS を含む開心術、全ての血管外科領域の与えられた仕事は完璧にこなすスーパーエリート！患者さんのため自分にも他人にも厳しい姿は先輩からも後輩からも一目置かれ、みんなのリーダーとしてやはり男女ともにモテているようです。大学院では大動脈二尖弁の流体力学の実験を行なっており、二尖弁形成術の新たな時代を生み出そうとしています。

川端　良　特定助教
チェロが似合います。学生時代モテまくっていた甘いフェイスのラガーマン。そんな彼には燕尾服でチェロを弾いてほしいという妄想が膨らみます。
基礎研究では iPS 細胞の培養と小口径人工血管の動物実験を行なっており、そろそろ研究も大詰め。華やかな研究成果を引っ提げて臨床現場復帰も近く、そのうち病棟からも臨床実習の学生からも黄色い声が聞こえてくることでしょう。

唐木　順　特定助教
上海出身のビオラパート担当。ビオラってあれです、ヴァイオリンより一回り大きいやつで、目立たないけど弦楽器の中音域で厚みを増すサポーター系。サッカー・フットサル大好き。７南病棟の仮眠室に生息し、そこで中国共●党と通信しているのではという陰謀論が出回っています。手術ものらりくらり淡々と飄々とサポートに入り、柳のようにしなやかに折れない無限の体力をお持ちです。研究では大動脈二尖弁の上行大動脈瘤の画像・組織学的診断を担当しています。最近ベビーが生まれ、意外なことに子煩悩パパに進化しました。

阪口　和憲　特定助教
トロンボーン担当です。腕が長くて背が高いからです。トロンボーンはトランペットと並んでブラスバンドの要であり、かつ背も高くスタイルがいいのでこちらもモテておりました。名門の国立循環器病センターで研鑽を積まれ、パワーアップして昨年大学に戻られました。いち早く心臓血管外科専門医も取得し、特にステントグラフト治療の第一線で活躍されて

います。抗菌作用の Ag とトリクロ酸を人工血管に応用する基礎研究をしており、後輩(Pf.)から「銀さん」と呼ばれたり呼ばれなかったり。

岡田　翼　医員
担当はファゴットです。「声が低くてそれっぽい」。ナニソレ？と言われましたが調べてみてください。とても落ち着いたみんなをホッとさせる音色です。実は上達までかなり難易度の高い楽器なんです。
はりま姫路→県立こども病院で研鑽を積まれ、昨年から大学に戻って来られました。ご存じコンダクターのご子息です。微笑ましく親子揃うと「親の顔が見てみたいわ」とまさに親父ギャグを手術室でかまされます。基礎研究では慢性大動脈解離のシングルセル解析やマウスモデル作成で汗をかいております。後輩指導も熱く、臨床も研究も非常に頑張っています。

古谷　凌一　医員
担当は一番舞台後方で潜んでいるパーカッションパートです。さまざまな打楽器を操ります。休符が多く出番がないところはうっかり寝落ちしてしまい、一発しかない出番を逃してしまうことも、、、そろそろ起きて！君の出番だよ！
岡山大学プログラムから入局されはや 2 年目。基本は寡黙系イケメンですが入った当初よりだいぶ笑うようになりました。まれにハイセンスなギャグをかまし医局員を笑顔にしています。汚い医局員の机の中で一番整理整頓されていて、小さな観葉植物を愛でています。意外と飲み会好きで気がついたら絶対参加している人。飲み会で一番覚醒しているような。

加藤　大樹　医員
担当はピアノパートそして元ハンドボール主将。娘にピアノ習わせたいと言いつつ本人はドレミが鍵盤のどこかわからない様子。奥さんはヴァイオリンできるらしい。
日々の臨床業務はもちろんのこと先輩後輩を振り切っていくスピードで臨床研究・基礎研を進めております。僧帽弁形成術後の左室リモデリングの研究、脊髄虚血の基礎研究・・・一体いくつこなすのか。非常に優秀で英語でのカンファレンス、海外学会発表もなんのその。その優秀さの裏に日々努力があり、夜中に縫合練習している姿があるのです。

和田　拓也　医員
ロシアン系チューバ吹き。でっかい低音がなる金管楽器。肺活量もめちゃくちゃ必要です。コントラバス系男子の高橋先生と一緒に手術に入るとなんかムチムチと圧がすごい。野球部なので岡山大学対抗野球大会の常連者になりそう。
はりま姫路→明石医療センターでの経験を経て大学 2 年目。大学はヤダヤダと言いながら意外と気に入っており医局のソファを陣取り、10 年くらい医局員在籍しそう。夜間の緊急手術も休みなく無限に立ち続けられるバーサーカー。その体力が羨ましい。

中岡　佑太　医員
担当はホルンパート。金管楽器で実は一番上達が難しく、彼にピッタリの柔らかい中庸な音が出ます。ラッパの向きが後ろ向きに音が出るようになっており、彼自身もたまに後ろ向き。全速力で後ろに走って行ったかと思えば淡路のカノジョに会いに行っています。
昨年淡路医療センターの研修医から大学に来られ、大成長中。ガジェットオタクなので当初 iPad でメモしていましたが、iPad を下敷きに紙メモをとる極地に追い込まれました。カテ挿入や縫合など牛歩ながらも非常に丁寧。大丸デートを目撃され、Trb.先輩からいじられる。

小山　宗亮　医員
クラリネットパート新人。音域が広く速いパッセージは毎日相当な練習量をこなさないとできない真面目な楽器。その練習量で筋肉ムキムキになっており、心臓外科を目指した理由が「最強になりたいから」。ムキムキなくせに絵も字も上手い。書道は段持ちの意外性。
初期研修医上がりたった 2 ヶ月と思えない落ち着きと的確な日々の診療のアセスメント。術前カンファレンスから手術中の学びも全てノートに書き留め学習する姿勢は真面目そのもの。だって最強になりたいから。先輩が教えたくなっちゃう今期 No.1 ルーキー。今後の活躍に乞うご期待ください。

医局秘書　俵　睦＆吉田　友実＆小林　英津子
ステージングマネージャー（通称ステマネ）の皆様方です。ステマネがいないと舞台運営は崩壊してしまいます。特に教授秘書の俵さんはコンダクターにしようか迷ったくらい。医局を牛耳る黒幕、最重要人物です。はちゃめちゃな医局員がご迷惑かけてすみません。いつも支えてくださりありがとうございます。

筆者　大山　詔子　特命助教
オーボエ担当です。ナニソレ楽器ですがギネスで最も難しい楽器登録されています。中学高校は軍隊みたいな吹奏楽団、大学で管弦楽団に所属していたガチ勢です。師は N 響の W 井先生。もう現役ほど吹けないので諦め、最近実はベースギターのレッスンに通っています。大学 2 年目。通算 10 年くらい沖縄の地で「まくとぅ（誠）そーけー、なんくるないさー」と研鑽していました。昨年から遺伝性大動脈外来を担当し、最近では遺伝子診療部や多職種連携で「結合織疾患ボード」を始動しました。基礎研究でもゲノミクス解析を担当します、そうゲノムオタクです。ぴよぴよですが歴代初の女性班長らしいので精一杯頑張ります。

どの団員が欠けても演奏会は成り立ちません。本年度も我ら心臓血管外科楽団からどんなアンサンブルが奏でられるのか。フィナーレに拍手喝采とブラボーをお待ちしております。